



**お元気ですか！**  
**志村 たかよし です**

第833号 2017年4月2日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

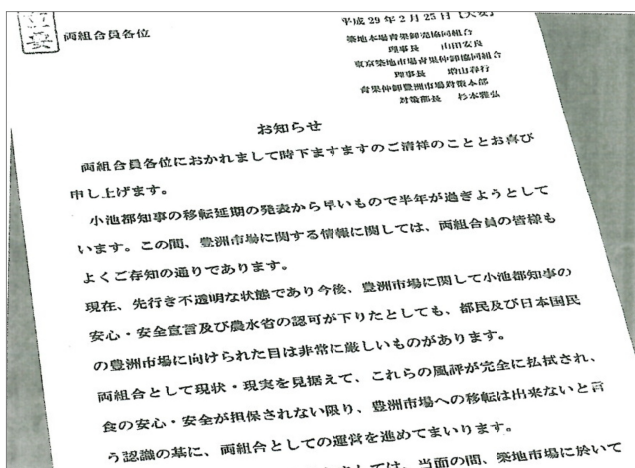
## 「豊洲移転できない」

# 築地市場青果仲卸2団体が方針転換

**組合員（仲卸業者）に文書を配布**

私が、18年間働いていた築地市場青果仲卸では、多くの店が豊洲移転に反対しており、「移転中止の決断を早急にしてほしい」との声が渦巻いています。

青果仲卸には、築地本場青果卸売協同組合【略称：マル中（ナカ）】、71業者」と東京築地市場青果仲卸協同組合【略称：マル本、26業者】の二つの協同組合がありますが、



築地市場青果仲卸の2団体が連名で組合員（仲卸業者）に配布した文書  
しんぶん赤旗3/3付

この両組合で作る青果仲卸豊洲市場対策本部との3団体の連名による「食の安全・安心が担保されない限り、豊洲市場への移転はできない」とする「重要」の判が押された2月25日付文書（上写真）が組合員に配布されました。

**認可が下りても国民の目は厳しい**

文書は「今後、豊洲市場に関して小池都知事の安心・安全宣言及び農水省の認可が下りたとしても、都民及び日本国民の豊洲市場に向けた目は非常に厳しいものが

## 「現段階で移転の選択肢はない」

東卸 早山理事長

築地水産仲卸の協同組合である東卸の早山理事長は、3月22日付の文書で所感を発表しました。  
文書は、営業を続けている築地市場の環境について新たな風評被害の発生への懸念を示すとともに、「東京都としての安心安全宣言がなされていない以上、軽々に答えは出

あります」「食の安心・安全が担保されない限り、豊洲市場への移転はできない」という認識の基に、両組合としての運営を進めてまいります」としています。

**従来は豊洲移転を前提だったが：**

しんぶん赤旗の取材に対して、マル中関係者は「従来は豊洲移転を前提に都に要求を出してきた。しかし、いくら豊洲が安心・安全だと言っても、消費者が買ってくれなければ商売にならない。文書は、仲卸組合の気持ちを伝えるためのだ」と説明しています。

せないはず」とし「現段階での豊洲市場移転の選択肢がない」としています。  
また、「石原慎太郎都知事以来、約18年の長きにわたる、築地市場に対して必要な修繕・補修を実行せず、老朽化に拍車をかけた自体が不作為と言わざるを得ません」と指摘しています。

# 個人情報流出の危険性

## 個人情報が含まれる業務の7割が民間委託

### 委託会社スタッフの相談を受けて本会議で追及

昨年末、中央区の業務が委託されている会社で働くスタッフの方から、個人情報の取り扱いを心配する相談がありました。

私は、その方からお話を聞くとともに、委託会社の担当者から聞き取りを行い、区の経理課長にも事実確認をしていただいて、相談内容がほぼ正しかったことがわかりました。

#### 明らかにった問題点

今回、明らかにった主な点は、次のようなものです。



区長を追及する私 = 3/1 本会議場で

委託会社は、区役所に派遣する

労働者に、個人情報保護法の説明や業務における心構えなどの事前研修は行わず、「個人情報に関する誓約書」にサインをするだけで、事前研修を行ったとしていた。

委託会社は、自宅に資料を持ち帰って業務を行うことを指示した。仕事時のスマートフォンの使用を禁止していなかった。

パソコンは委託会社の持ち込みで、職員がチェックすることはない。

マニュアル・手順書には、区民の個人情報が使われていた。

\*この点は、さっそく区に確認させ黒塗りにさせました。

書類を保管する場所が不足しており、仮置き状態になっている。というものでした。

この問題を3月1日の本会議質問で取り上げ、調査してきたこれらの実態を示して質問しました。

#### 個人情報の扱い7割が民間業者

まず、中央区における個人情報を取り扱う業務での民間委託の割

合を聞いたところ、区長は「約7割となっている」と答えました。

#### 事前研修は業者の責任なのに

個人情報を扱うための「事前研修」を、入札の条件にしているのか聞いたところ、区長は「契約締結の際、適正な安全管理を確保するよう、受託者の責任において研修等を実施し、個人情報保護の啓発を図ることとしている」と答弁しました。

しかし、私が調査した委託業者は、「研修等の実施」という責任を果たしていませんでした。

#### 個人情報の流出等はないと区長

私は「委託会社の個人情報の扱いについて、どこが責任を持ち、どのように徹底しているのか」「個人情報不適切に取り扱われた事例はあるのか」「個人情報を扱う業務中の、委託業者や派遣労働者のスマートフォン使用は、情報漏洩の危険が高く、適切な対応が求められるのでは」と質問したのに対して、区長は「（個人情報について）主管課と経理課が連

携しながら指導している」

「情報漏洩につながるような業務中のスマートフォンの使用はなく、個人情報不適切に取り扱われた事例は報告されていない」と答弁しました。

また、事故を未然に防ぐためにも、資料の収納スペースを十分に設置すべきと提案したところ、「資料の保管など個人情報の安全管理措置については適切に対応する」と答弁しました。

なお、その後の報告によると、職場には収納ラックが設置されたということです。

#### 民間業者への委託は今後も増加

区長は「委託業務において、個人情報の外部への流出や持ち出しといった事実はない」と断言しましたが、危険性は存在しているのです。

中央区では、指定管理者制度の導入や業務委託によるアウトソーシングが進んでいます。区役所の仕事にはたくさんの個人情報が集まっており、民間業者の参入増加による個人情報の漏洩、流出、悪用の不安はつのるばかりです。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6616-6606)